



国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

超私の奉仕

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

第2281回 例会会報 平成17年8月23日(火) 晴(本年度 第6回)

会長報告

加藤 功

ロータリークラブの奉仕活動に活力と元気を引き出す詩歌がないかと山形大学のキャンパスを探してみました。米沢にある工学部には素晴らしい詩歌があることが分かりました。それはサムエル・ウルマン原作、岡田義夫邦訳“青春”の碑です。その抜粋を次に掲げます。

青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。

優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、

安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。

年を重ねただけでは人は老いない。理想を失うときに初めて老いが来る。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。苦悶や狐疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂を芥に帰せしめてしまう。

年は70であろうと16であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。曰く、驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽迎、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まむ探究心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる。

人は自信と共に若く 恐怖心と共に老ゆる。

希望ある限り若く 失望と共に朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜び、勇気と壮大、そして偉力の靈感を受ける限り人の若さは失われない。これらの靈感が絶え、悲歎の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを堅くとぎすに至れば、この時こそ人は全く老いて、神の憐れみを乞うる他はなくなる。

サムエル・ウルマン(1840～1924)ドイツのヘヒゲンでユダヤ人の両親の長男として生まれ、1851年、両親と共に米国に移住した。その間、南北戦争に従軍した後、金物屋を営みました。バーミンガムナショナル銀行の役員や市教育委員会の委員長も勤めています。彼は、実業家としてばかりではなく、当時の社会的弱者を救済する運動にも力を注いだ。彼を有名にしたのはたった一つの名詩「青春:youth」です。この詩は84歳で亡くなる6年前、すなわち78歳の時の作といわれており、1920年ごろに出版された詩集『八十有余の峰より』に収録された自選の作品です。ウルマンの死後、彼の名前も、その名詩も忘れ去られていったが、27年後の1945年、皇居前の第一生命ビルのマッカーサー元帥の執務室にこの詩は飾られていた。そして、マッカーサーは、日々暗誦したといわれている。どのような経緯で日本人に伝わったかは不明であるが、この英語詩に感動した岡田義夫(山形大学工学部非常勤講師)によって翻訳された。当時の米沢工業専門学校長・後に山形大学長・森平三郎先生がこの詩を名訳であると某新聞に紹介されました。それ以後、この詩は日本全国に、多くの愛読者を生んでおります。政財界の大物、たとえば、松永安佐工門、松下幸之助、中曽根康弘、そして講談社の野間省一などに強い影響を与えた。まさに、戦後の高度経済成長の原動力にもなったこの名詩は、とくに、最近元気のない方、取り戻したい方、これからもっと元気を出していきたい方には、是非お勧めしたい。なお、オリジナルもあり、これもよく愛読されています。

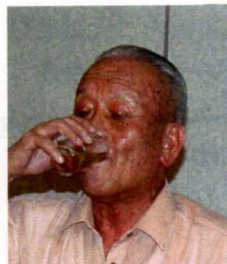
さて、本日は、納涼家族例会・「だだちや豆例会」として、親睦委員会では特別な企画を準備しております。今宵は十分楽しんでいただき、明日からは元気で活力をつけて、厳しい夏を乗り越え、仕事、家庭そしてロータリークラブの奉仕活動に活躍されることを祈念します。

自分にも出来る温暖化防止

ストップ! アイドリング



上野親睦委員長のご紹介によるハワイアンフラダンスグループ「ナ・キエレ・オ・カ・ラニ」の熱演。例会を大いに盛り上げてくれました。なお、グループ名の意味は“天から授かったキエレの花”と言う意味。



アクトの罰ゲーム
「あー！
うまい」



鶴岡ローターアクトクラブ 小野寺静香
こんばんは。昨年はいろいろご支援頂きありがとうございました。お陰様で2004～05年度国際ロータリー会長賞を受賞する事ができました。また、今年度は台湾の第3520地区国際ライラ大会に招待されました。当地区よりは初めてと言うことで、色々な事を学んで来たいと思っています。このような機会を与えてくださった皆様に感謝いたします。費用がかかる為ご支援いただければありがたいと思います。宜しくお願い致します。

なお、9月25日には善宝寺で早朝例会を開催します。よろしければ是非ご参加ください。



閉会の言葉

会長エレクト 丸山隆志

本日は大変楽しい家族例会をありがとうございました。上野先生のお力によるフラダンスやローターアクトの皆さんのゲーム、更に須田さんの丹精込めた「えだまめ」のお陰と感謝いたします。来年もまたよろしくお願い致します。

委員会報告

●出席委員会

委員長 阿蘇司朗

本日の出席		前々回の出席	
会員数	45人	出席率	70.45%
出席数	29人	修正出席数	32人
出席率	65.90%	確定出席率	72.72%

●メイクアップされた方

藤川享胤君・斎藤 昭君・佐々木喆彦君